

---

# 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2009年1月23日号

©2008年12月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年12月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

## 1 国内油糧作物及び食用植物油価格は落勢が明らか

2008年12月の湖北地区における菜種の工場仕入価格は1トン当たり3,625元、前月比17.6%安・前年同月比19.4%安で、2006年末の水準並となった。山東地区の落花生仁（種子の中の食べられる部分。殻むき落花生）価格は同4,725元、前月比15.3%安・前年同月比46.4%安で、2005年の水準まで下落した。湖北地区の四級菜種油の工場出荷価格は同7,040元で、前月比4.4%安・前年同月比33.8%安となった。山東地区の四級落花生油価格は同10,765元で、前月比8.5%安・前年同月比38.2%安となった。天津港におけるパーム油（融点24℃）のオファー価格は同4,393元で、前月比8.4%安・前年同月比48.5%安となった。

## 2 油糧及び食用植物油価格は低水準で反発

南米の早魃及び原油価格反発などの影響を受け、国際油脂・油糧価格は2008年12月中旬になって反発し、同月末のカナダの菜種のCNF価格（C&F価格、1990年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB（本船渡し）価格＋運賃。以下同じ）は1トン当たり405ドルで、低水準であった12月10日に比べ12.5%高となった。南米の未精製大豆油のCNF価格は同718ドルで、低水準であった12月8日に比べ8.8%高となった。マ

レーシアののパーム油（融点24℃）の離岸価格（本船渡し（F O B）価格）は同540ドルで、同じく12月8日に比べ5.9%高となった。しかし、目下の価格は依然として低く、12月の平均価格は、カナダの菜種が同383ドルで前月比4.9%安・前年同月比35.6%安で、最高となった3月初めの価格に比べ55.2%安となった。

### 3 輸入菜種及び大豆油の通関渡し価格はともに国内市場価格を下回る

輸入菜種の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、2008年11月になって、最近5年間で初めて国内市場価格を大幅に下回る状況となり、12月になってその状況が継続した。カナダ産菜種の通関渡し価格は1トン当たり3,340元前後で、国内の菜種の工場渡し価格に比べ285元安かった。米国メキシコ湾における大豆油F O B価格は同675.1ドルで、これを同4,620元と換算すると、山東地区の国産大豆油価格に比べ2,200元安く、通関渡し価格では6,727元となり、同93元安かった。

### 4 油糧輸入は大幅増加、食用植物油の輸入は減少

2008年1～11月の中国の油糧累計輸入量は、前年同期比22.4%増の3,541.7万トンとなった。そのうち輸入菜種は25.8%増の103.8万トンであった。同じく食用植物油は4.0%減の741.7万トンとなり、うちパーム油は前年同期並みの470.5万トン、菜種油は31.1%減の23.3万であった。

### 5 世界の油糧生産量は明らかに増加

国連食糧農業機関（F A O）の予測によると、2008/09年度の世界の油糧生産量は前年度比6.6%増の4.31億トンと見込まれ、うち大豆、菜種及びヒマワリ種子はそれぞれ7.9%増、12.5%増及び11.6%増とみられている。